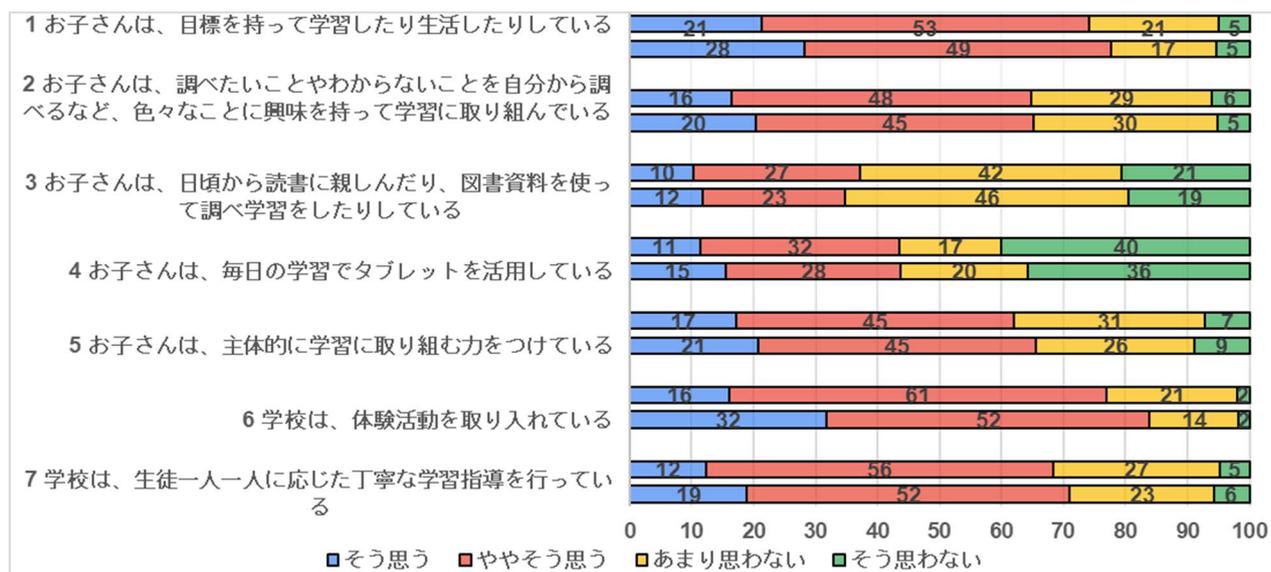


令和6年度 学校評価アンケート（後期）の結果について

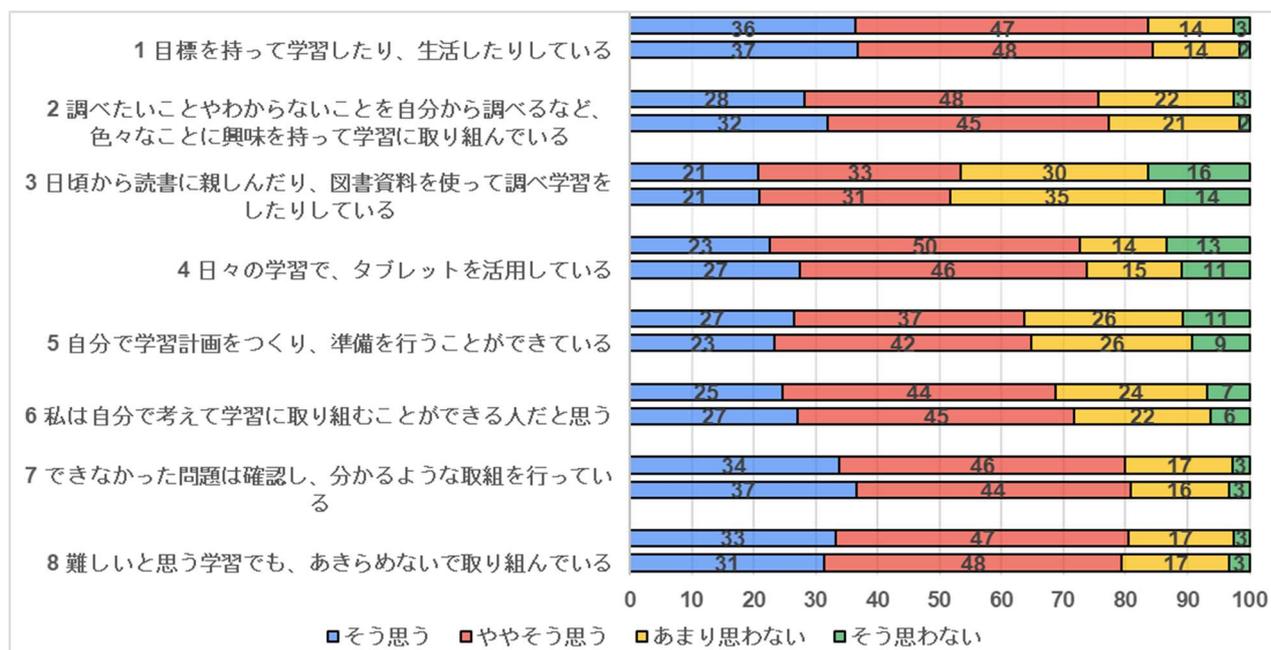
市川市立第二中学校

1 「確かな学力」について

保護者アンケート



生徒アンケート



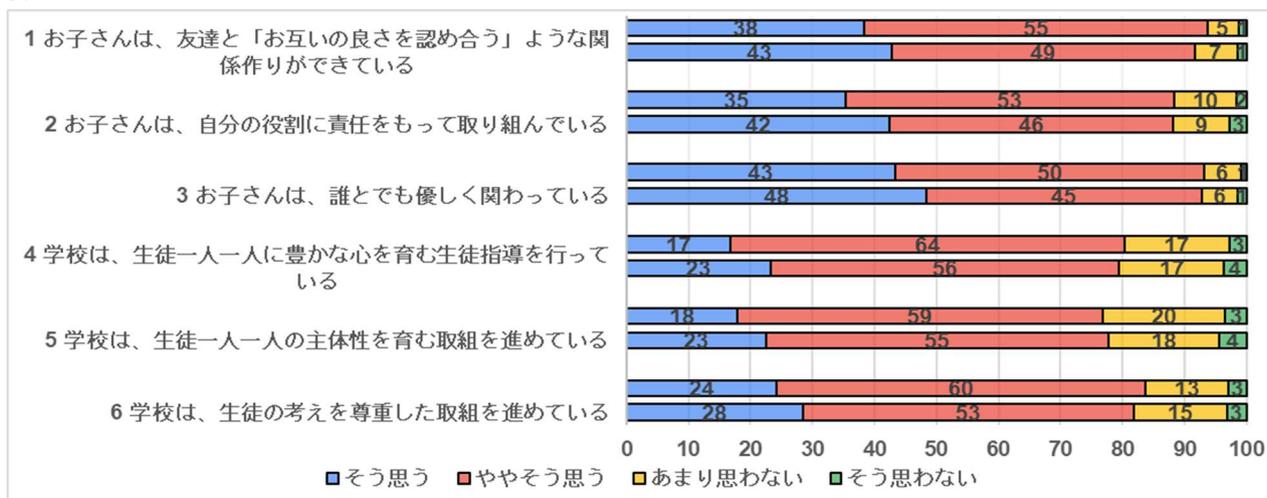
- 1, 2は市内共通の項目ですが、生徒・保護者とも市内平均（保1＝72、保2＝61、生1＝80、生2＝73）を上回り、前期からさらに肯定的な回答の割合が向上しました。本校の生徒は目標を持ち、興味関心を持って自分から学習に取り組む態度が順調に育っているとと言えます。来年度も特に2において高い評価が得られるよう、学習課題の精選や学習支援の方法の工夫に取り組んでまいります。
- 3, 4も市内共通の項目です。生徒・保護者とも市内平均（保3＝38、保4＝34、生3＝45、生4＝53）は上回りましたが、前期からの課題が大きく改善されたとは言えない結果となりました。読書については、朝読書、学校司書や図書委員を中心にした様々な活動や図書館の環境整備、教科学習や総合学習と

連携した図書資料活用推進など、後期も様々な取組を行ってまいりましたが、肯定的な回答の割合が減少する結果になってしまいました。他に様々な活動が増える中、読書に費やす時間が相対的に減少する傾向にあるものと思われますが、今後も読書活動は重要なものと位置づけ、読書や図書資料の活用推進に取り組んでまいりたいと思います。タブレットの使用については生徒アンケートの結果は比較的良好で、前期からさらに肯定的な回答の割合が増加していることから、学校においては活用が進んでいることがわかる結果でした。課題であった保護者アンケートの結果も、「4：そう思う」の割合は増加しており、若干の改善傾向はみられました。今後も、家庭における活用促進、学校での活用推進及び活用状況の周知に取り組んでまいります。

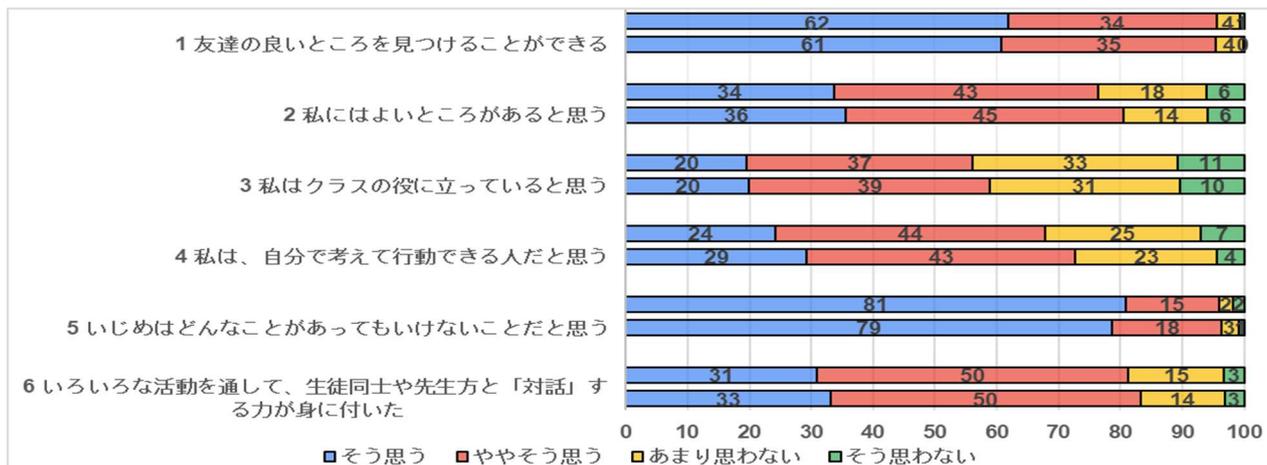
- 本校の教育目標の柱の一つである、「主体的な学び」については、生徒アンケート5、6、7の結果は前期よりさらに向上しており、生徒は自分で学習の計画・準備を行い、反省も生かしながら自ら考えて学習に取り組む姿勢が順調に育っていると考えられます。生徒アンケート8の結果は前期より微減となりました。後期に入り学習の難易度が上がったことも一因と考えられますが、粘り強く学習に取り組む態度が育つよう、より一層丁寧な学習支援に努めてまいります。保護者アンケート5の結果はまだ十分ではありませんが、前期より向上しており、保護者の目から見ても生徒の主体的に学習に取り組む力が身につけていることが示されました。今後とも生徒の学びを支え、自ら学ぶ力を育てる取組を継続・発展させてまいります。

2「豊かな心」について

保護者アンケート



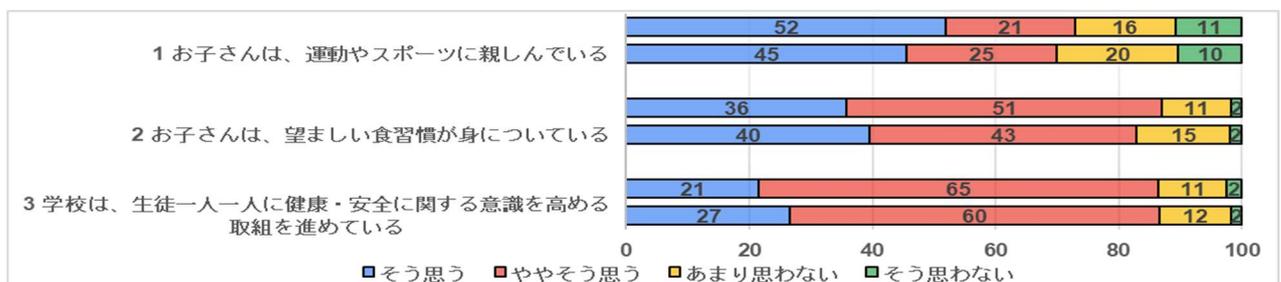
生徒アンケート



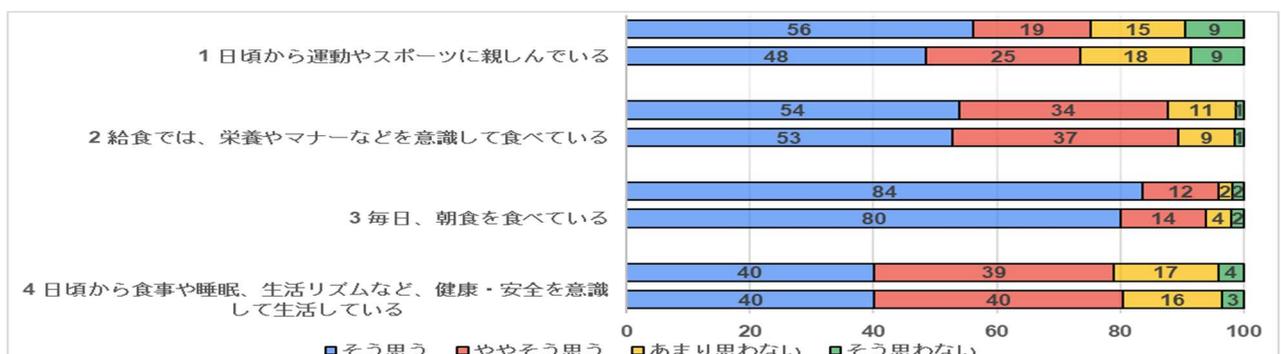
- ・前期も高評価であった保護者アンケート1～3の結果は「4：そう思う」の割合がさらに増加しており、保護者の目から見て、他者の良さを認めてよい関係を築き、集団の一員として責任をもって役割に取り組むなど、豊かな心が順調に育っていることがわかりました。また保護者アンケート4～6の結果も、「4：そう思う」の割合が増加しており、生徒の考えを尊重し主体性を育む、豊かな心を育てる本校の取組についても一定の評価をいただきました。今後とも中学生の良さを大切に、いろいろな意味で豊かでしなやかな心を持った生徒を育てる教育活動・生徒指導に努めてまいります。
- ・生徒アンケート1は、肯定的な回答が非常に高い割合であった前期とほぼ同等であり、本校の生徒は、他者の価値を認めることができる豊かな心を持っていることが引き続き示されました。自己肯定感を示す生徒アンケート2の結果は、一昨年度（69%）、昨年度（74%）、前期（77%）と向上しており、今回は81%と8割を超え、「4：そう思う」の割合も増加しました。自己有用感を示す生徒アンケート3の結果も、一昨年度（47%）、昨年度（48%）から大きく向上した前期（57%）からさらに59%と向上し、「4：そう思う」の割合も増加しました。本校では自己肯定感、自己有用感の向上を最重要の課題の一つととらえて取り組んでいます。この取組が生徒の心の成長を促していると考え、引き続き生徒が自分の価値を実感できる取組を進めるとともに、生徒アンケート3の結果はまだまだ十分ではないため、さらなる向上を目指して工夫を重ねてまいります。
- ・いじめに関する生徒アンケート5の結果は、一昨年度（89%）、昨年度（88%）から大きく向上した前期（96%）から、肯定的な回答の割合は97%と1ポイント上昇しましたが、「4：そう思う」の割合が2ポイント下降したのは気になることです。生徒会や学級委員を中心とする生徒の活動によっていじめについて考えてきた取組が形骸化してしまわないよう、生徒自身のいじめに対する意識の啓発に努め、豊かな心を育むと同時にいじめの未然防止に努めてまいります。
- ・今年度は「対話」をテーマに生徒の活動や、職員・生徒の研修会や講演会を行っており、後期も様々な取組を行いました。生徒アンケート6の結果、前期（81%）からさらに（83%）と向上しており、順調に成果が出ていると考えます。「対話」を軸にしたコミュニケーション力の育成を図ってきた今年度の取組の成果を踏まえ、来年度の取組に繋げてまいります。

3「健やかな体」について

保護者アンケート



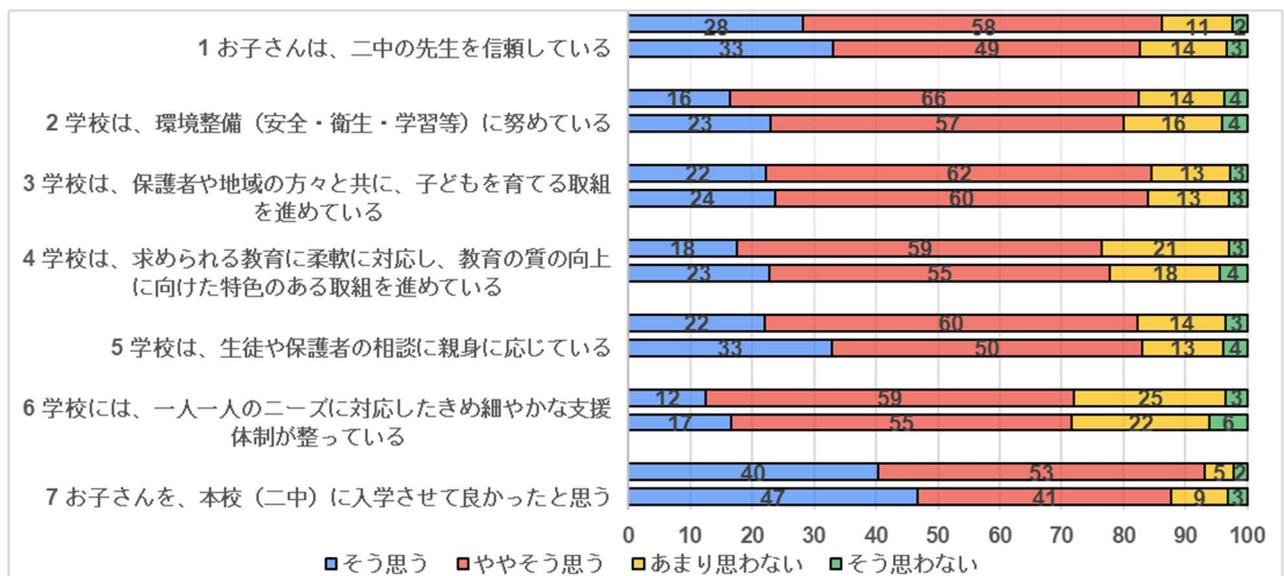
生徒アンケート



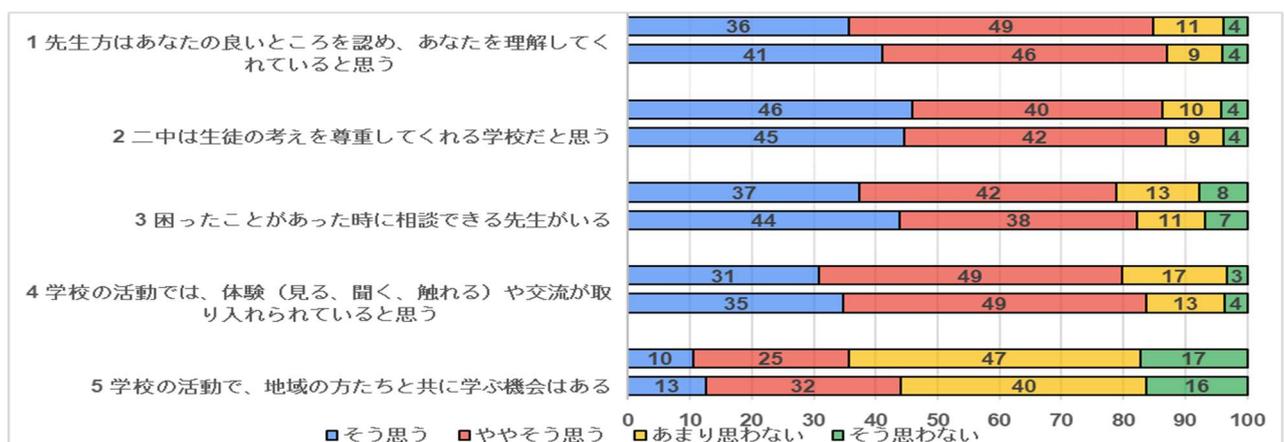
- ・保護者アンケート1及び生徒アンケート1の結果は、前期に続いてどちらも市内平均(保=68、生=70)を上回り、冬季の調査ということで前期より若干低下しましたが、本校の生徒は継続して運動やスポーツに親しんでいると言えます。保護者アンケート2、生徒アンケート2の結果も市内平均(保2=81、生2=84)を上回っており、前期をやや下回ったものの生徒アンケート3の結果も良好で、食生活や食に関する意識も高いことがわかります。体力の向上、食育は市をあげて取り組んでいる課題です。今後も、体育の授業の工夫や日常生活での運動機会増加の呼びかけ、意欲的な部活動参加等により体力の向上に取り組んでいくとともに、給食や家庭科等、様々な機会をとらえた食育を通して生徒の食の意識向上に努めます。
- ・生徒アンケート4から、健康・安全に対する本校生徒の意識は前期と同様に比較的高く、保護者アンケート3から、健康・安全に関する学校の取組に対する保護者の評価も継続して良好です。来年度もブロックで連携した引き渡し訓練を継続するとともに、地震発生を想定した訓練や、消火器を使った消火訓練、抜き打ちの避難訓練等を行い、その都度講話や振り返りを行うなどして災害時に適切に対応できる力の育成に努めていきます。また、食育の推進とともに、「がん教育推進教師」を置き、著名な外部講師による講演会を開催するなど、健康教育(ヘルシースクール)の推進に努めます。

4 「信頼される学校」について

保護者アンケート



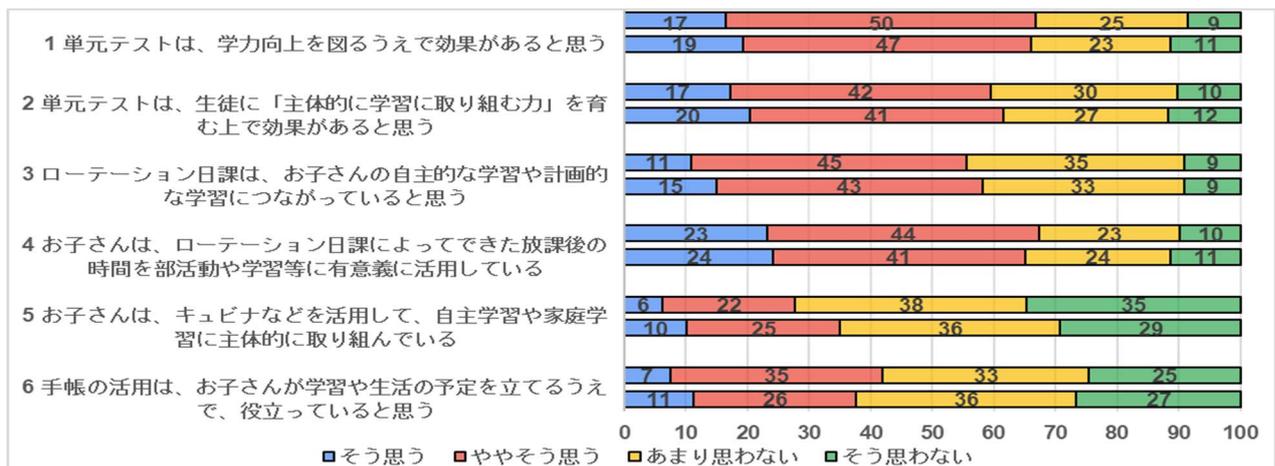
生徒アンケート



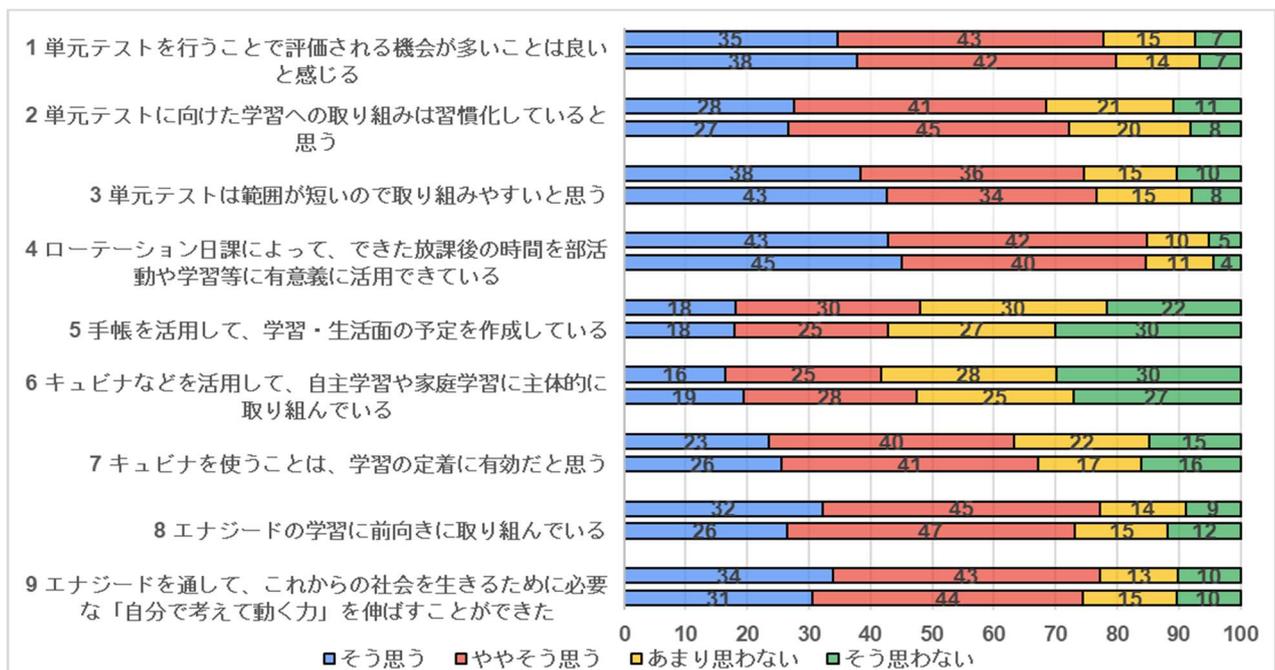
- ・保護者アンケートでは、全項目で前期に引き続き高い評価をいただきました。肯定的な回答の割合（3，4の合計）では、前期をやや下回る項目もありましたが、「4：そう思う」の割合は全項目で前期を超える評価をいただきました。今後もこの信頼を損なうことのないよう、丁寧で質の高い学校教育の継続に尽力してまいります。特に、1、5の項目で肯定的な回答の割合が前期を下回ったことは重く受け止め、来年度もよりよい教育活動を目指して改善に取り組んでまいります。
- ・生徒アンケート1～3の結果から、生徒も前期に引き続き教職員や学校の生徒に対する姿勢を信頼してくれていることがわかりました。これからも、より強く信頼してもらえよう、関係作り、体制作りにも努めてまいります。
- ・生徒アンケート4の結果から、生徒は体験活動や交流に関しては、前期同様、充実していると感じていることがわかりました。また、5の結果から、課題となっていた地域との交流についても、様々な地域交流やNFESの開催などによって、まだまだ十分とは言えないものの、改善傾向にあることがわかりました。来年度も地域との連携、交流の充実にも努めていきたいと考えています。

4 二中の取組について

保護者アンケート



生徒アンケート



- ・保護者アンケート1～4の結果から、単元テスト・ローテーション日課の効果については、前期同様、保護者の皆様から一定の評価をいただきました。さらに、生徒アンケート1～4により、生徒は保護者よりさらに高い割合で単元テスト・ローテーション日課を肯定的に受け入れていることがわかりました。自由記述欄には単元テストに関するご意見が、今回も一定数ございましたので、別途、主なご意見をご紹介します、学校の考えをお示しいたします。
- ・A I型教材キュビナの活用については、前期の結果を踏まえ、生徒の実態に合わせた有効活用に努めた結果、生徒アンケート6、7及び保護者アンケート5のいずれも改善が見られました。キュビナの活用は少しずつ進んでおり、7割近い生徒が有用性を実感しているところではありますが、有償の教材であることから、今回の結果及び市が提供している電子教材が充実してきている実態を踏まえ、来年度のキュビナの導入は見合わせることを検討しています。個別進度学習や家庭学習等での電子教材の活用については、市が提供している教材等の有効活用の方策を検討し、実施してまいります。
- ・学生向けビジネス手帳「フォーサイト」については、保護者アンケート6、生徒アンケート5の結果、課題となっていた前期からさらに評価を下げる結果となってしまいました。この手帳は、単元テスト等に向けた学習計画のみならず、勉強や部活動において目標を設計して計画的に生活し、習慣的に見直しを行うことで努力が成果に結びつく実感を育て、自ら学ぶ力を身に付けてもらうことを狙って今年度から導入したものです。初年度である今年度は基本的な活用を学び、段階を踏んで有効に活用できるようになってもらおうという構想ですので、今年度の結果を受け、2年目となる来年度は活用が定着し、狙った成果が現れるような手だてを実行してまいります。
- ・今年度から全学年の総合的な学習の時間に導入した、次世代型キャリア教育プログラム「エナジード」については、生徒アンケート8、9の結果から、生徒は前向きに取り組み、「自分で考えて動く力」の取得を実感していると考えられます。しかし、後期はやや取組が形式的になり、評価が低下した結果を踏まえ、来年度は年間を通してより意欲的に取り組めるよう、実施方法を工夫改善してまいります。

5 自由記述欄について

○学習について

〈主なご意見〉

- ・英語や数学など小学校の様にできない子の少人数での授業をして欲しい。
- ・教師により指導内容に差があり、学年での学習内容に差があるように感じる。
- ・全体的に授業が淡々として面白くない様です。生徒が色々な事に興味を持てる授業に期待します。
- ・欠席した際 教科の進度や教科書の進めた頁の用紙などがあると、学習抜け洩れ防止となると思う。
- ・千葉県立高校受験のためにはすでに1年からの内申点が、換算されることになってはいますが、実際子供は知らなくはないが、どれだけ重要か全く気にしていない様子。将来どのような目標を立てるのか、そのために何をどれだけ頑張らないといけないのか具体的に話をしてもらいたい。

〈学校より〉

少人数指導については教科の教員の人数の関係もありますが、何らかの形で実施したいと考えています。教師間の指導内容のすり合わせや、興味・関心が持てる授業の実践、欠席した生徒へのケアなど、いずれも大切なことですので、各職員が認識して学習指導に当たります。1年生からの学習が受験のためだけでなく、将来的に大切であることはご指摘の通りであり、生徒にも常々伝えていきます。今後も機会あるごとにしっかり伝えていきたいと思っております。

○テストについて

〈主なご意見〉

- ・高校に行ったら単元テストではなく定期テストになるので、その対策も話したり体験させてほしい。
- ・単元テストは頻繁にありすぎてテスト対策の勉強という気がなく、学習の取り組みに不安を感じます。

- ・単元テストのせいで毎日テスト勉強をしていて大変そうだ。それに受験に役立つ総合的な勉強を見えてくれないのは塾に通ってない子は不利だと思う。
- ・単元テストは範囲が短いので準備は楽な様ですが、テストに向けた勉強を行っていないようなので、学力テストや塾のテストに向けた対策が苦手なようです。
- ・単元テストだとあまり勉強しなくてもある程度の点数がとれてしまうので、必死で広い範囲を計画的に学習するといった事が全くできていない。
- ・単元テストでは、テスト範囲が狭く一夜漬けが容易にできます。広範囲を期日までに勉強するというスケジュールリングも身に付きません。そして、テストが過ぎれば、ほぼ復習することもないため、長期的な記憶に繋がりません。年に数回広範囲の業者テストがありますが、こちらは問題がとても簡単で筆記はほぼありません。偏差値も出ないため、自分のレベルを把握することもできません。高校受験は相対的な評価で決まります。このままだと、何をもち、高校を選ぶことができるのでしょうか？推薦以外の選択肢を考えていないのでしょうか？以前の定期テストに戻していただきたいです。
- ・実力テストについては、やるからにはフィードバックや補習などのフォローがほしいです。今の自分がどこができないのかなど、コメントは細かく書かれていますが、それを次にいかせていません。日々の単元テスト対策の勉強で精一杯で、実力テストを受ける前の対策ができず、何のためのテストなのかも明確ではないので、本人のモチベーションがあがっていません。
- ・単元テストがしょっちゅうあるが、学力向上に繋がっているのかいまいち分かりません。部活も普通にあるので、あまりメリハリのついた学習環境ではないように感じます。あと、感染症でしばらく休んでいたせいで課題を完成させられなかったり提出できなかったりした際の対応が厳しいなと思いました。救済措置はないのでしょうか。

〈学校より〉

単元テストについては導入当初から、これまでに多くのご意見やご質問をいただき、その都度、一つ一つに回答する形で、その趣旨や意義について説明してまいりました。回答を読み、あるいは単元テストを実際に一定の期間経験することによって、生徒・保護者の皆様の理解が進み、ご心配の声や否定的なご意見はかなり少なくなってきたと感じています。

今回いただいたご意見は概ね「高校へ行ってから定期試験に対応できるか心配」「単元テストは範囲が短く日常的にあるので生徒が軽く考え、根を詰めて勉強しない」「単元テストのために毎日勉強しなければならず大変そうだ」「実力テストの意義が理解できず、生かしきれていない」という趣旨のものでした。定期テストには、「勉強から解放される期間と、定期テストで高得点を取ることを目指して勉強漬けの数日間を送る期間があることでメリハリがつき、モチベーションも上がる」という効果は期待できるかもしれませんが、現行の学習指導要領の理念に基づいた学習評価の在り方に照らすと、必ずしもこのメリットにこだわる必要はないと考えています。「単元のまとまりごとに学習の成果と課題を自分で把握し、主体的な学習によって改善して学力の定着を図っていく」ことが単元テストの目的です。また、「相対的な学力の把握」や、「広い範囲の問題を制限時間内に回答する形式の試験を受験する経験」への対応といたしまして、「実力テスト」を定期的実施しているところです。このことを理解し、うまく単元テストや実力テストを活用して日常的に確実に学習を積み重ね、成果をあげている生徒も増えてきています。また、他の要因もあるかもしれませんが、単元テストを1年次から経験してきた今年度の3年生の「全国学力調査」の結果は相対的に大きく向上しました。

趣旨が理解できず、単元テストになじめない生徒には今後とも丁寧に対応し、学習意欲および学力の向上を粘り強く支援してまいりますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

○手帳・キュビナについて

〈主なご意見〉

- ・手帳は最初の頃は書いていましたが、最近は全然使っていないようです。使い方について、もっと効果的な書き方などがあれば紹介していただきたいです。
- ・手帳の活用、キュビナについては自宅で活用出来ていないと感じている。(学習については、)他の学習

教材タブレットを利用している。

- ・手帳について。大人も月別・週別など手帳の好みがあるので、一方的に学校が決めたものではなく手帳のスタイルの選択肢を与えて、そこから選べるのであれば、自分が選んだ手帳にもっと真剣に取り組むと思います。もう一つ言うと、アナログの手帳は、大人でも利用者は減っています。どちらかと言うとデータ(Google カレンダーのようなもの)でのスケジュール管理を推進した方がいいと思います。
- ・キュビナと手帳は全く利用していないと子どもが申しています。自習になる授業もあったので、キュビナはそういった時に活用して欲しかったです。
- ・キュビナをあまり活用できていません。認識ミスがあり使いにくいそうです。

〈学校より〉

キュビナにつきましては、アンケート結果の分析の部分でもお伝えしましたが、有償の教材であることから、今回の結果及び市が提供している電子教材が充実してきている実態を踏まえ、来年度のキュビナの導入は見合わせることを検討しています。個別進度学習や家庭学習等での電子教材の活用については、市が提供している教材等の有効活用の方策を検討し、実施してまいります。

学生向けビジネス手帳「フォーサイト」については、活用が進んでいない実態は認識していますが、初年度である今年度は基本的な活用を学び、段階を踏んで有効に活用できるようになってもらおうという構想ですので、来年度も継続したいと考えています。今年度の結果を受け、2年目となる来年度は活用が定着し、狙った成果が現れるような手だてを実行してまいります。

○生徒指導について

〈主なご意見〉

- ・一年の特定の子の喧嘩をよく聞きます。まだ一年ですが、受験なども控えてるので早い段階で落ち着いて欲しいです。
- ・生徒が問題を起こした際、どんなに頭に来ていても、教員として言葉使いに気をつけていただきたいです。
- ・時代の流れかもしれませんが、もう少し厳しくても良いかと思う。子供が学校をナメてる。
- ・集団で特定の子をいじる事が常態化しているようだが、自分がされて嫌な事を人にしないという事がわからない子が多すぎる。
- ・発表の場などで、ふざけた子がいても注意されず、グループの中には泣いている子もいたそうです。先生にはきちんと生徒に指導して頂く様、願います。

〈学校より〉

本校は全体的には素直で穏やかな生徒が多く、落ち着いて学校生活を送っていますが、ときにトラブルが起きたり、心ない言動があり、それによって傷つく生徒が出てしまうことがあることも事実です。それを見聞きしたお子様の話からご心配をおかけしていることと思いますが、一つ一つのトラブルや許されない言動に対し、先生方は迅速かつ丁寧に、互いに連携しながら心を尽くして、それぞれの生徒に向き合い、その都度最善と思われる指導・支援をしています。中学生は成長の過程で時に間違いを起こすこともありますが、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう、今後も尽力してまいります。なお、指導の際の職員の言動に関しては、ご指摘の点を再度周知徹底いたします。

○部活動について

〈主なご意見〉

- ・給食がない日、部活動でお弁当持ちでしたが帰りの会から部活動がスタートするまでの時間が10分しかなく移動で終わってしまいお弁当が食べられなかったようです。朝練もありましたので朝食の時間が早い上、昼ごはんも食べられず、空腹のまま練習をしていたと思うと胸が痛くなりました。また保護者も子供のお弁当の為に早起きしています。そういった努力も無駄になりますし、食事の時間の確保、よろしく願い致します。
- ・部活動朝練の補食について、先月禁止になったと子供から聞きました。禁止となった経緯も聞きましたが、ルールを守らなかった対象者のみとすることはできなかったのでしょうか。昨今成長期における運

動後捕食など重要視されている流れや学習の集中力へ影響と、とてもよい取組とっておりました。家庭でも用意していくものですので、保護者へのきちんと通達が必要だったのではないのでしょうか。ルールを守らなかったことはいけませんが、きちんと守っている者はおります。この件で連帯責任とするのは理解できませんでした。

- ・部活動中の熱中症計の置き場所についてです。学生が活動しているのは炎天下の陽の下ですが、熱中症計は木陰に置いてあり、対策として不十分だと思います。子供達の身体や命に関わる事なので、もう少し真剣に取り組んでいただきたいです。

〈学校より〉

お弁当を食べる時間が十分でなかった件については、大変申し訳ありませんでした。給食がない日の昼食時間の十分な確保について、今後このようなことがないように改めて周知いたします。

朝練後の補食をルール違反が頻発したために一時停止にした件については、いただいたご意見はおっしゃる通りだと思います。補食を導入した際に前例のない取組であったことから「食べ物を各自持ってきて学校で食べる」ということに対して生徒指導上の影響を懸念する意見があったことから、「試行期間を設け、ルールが守られれば導入する」という段階を経て実施に至った経緯があったため、今回はこの時点での約束を適用し、「ルール違反があったので一時停止」という形になったのですが、健康面を考えて導入した制度であり、保護者への説明なしに全体への措置としたところは、適切ではなかったと考えています。

気温が高い時期の、部活動をはじめとする生徒の活動については、常に地域の熱中症警戒情報の把握や気温と湿度を加味した「暑さ指数」の計測を行い、「暑さ指数」が基準を超えたときは直ちに活動を中止するようにしています。また、こまめな水分補給や休憩、活動内容の考慮、エアコンの効いた部屋での体の冷却など、様々な熱中症予防対策を実施しながら活動しています。適切な場所での熱中症計の設置をはじめ、今後とも職員一同、猛暑の中での活動には常に熱中症の危険をはらんでいることを強く意識し、安全を第一にした活動を徹底してまいります。

○行事について

〈主なご意見〉

- ・2学年での校外学習は、目的をもってきちんと取り組めたようでとても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・合唱祭での全校合唱が特に良かったです。全学年で歌う機会はあまりないと思うので、スケールのある素晴らしい歌声を聞いて感動しました。
- ・今年度より、学校行事が平日に開催されることが多く、子供が最終学年で参観したかったのですが、仕事の関係で参観できず残念でした。先生方の働き方改革は理解できますが、平日開催で参観が難しい保護者への配慮も頂けると幸いです。

〈学校より〉

校外学習や合唱祭について、温かいご意見をいただきありがとうございます。今回の2年生の校外学習は2学年の職員が長い時間をかけてたくさんの企業や事業所の協力を取り付け、企業や事業所の側でも、「各事業所のSDGsの取組を紹介してほしい」という前例のないリクエストに真摯に向き合い、できる限りの準備をしてくれたことによって実現した画期的な取組でした。また、合唱祭はコロナが明けて全校開催になって2年目を迎え、すべてのクラス・学年が思いを込めて取り組んだ、素晴らしい一日となりました。今後とも様々な行事が、中学生の持てる力を最大限に発揮できる取組になるように尽力してまいりたいと思います。

学校行事の平日開催については、趣旨をご説明させていただき一定のご理解をいただいていると考えていますが、映像の配信や後日上映など、平日開催では参観が難しい保護者の皆様への配慮を今後も充実させていきたいと思っています。

○学校生活全般について

〈主なご意見〉

- ・二中で良かった、この学年で良かった、このクラスで良かったと感謝しています。先生方の手厚いサポート、3年間見守って下さり有難うございました。残り僅かな時間を大事に過ごして参ります。
- ・一人ひとりの個性を育むのは学校だけではかなり難しいと思われまます。学校や家庭だけでなく、地域、社会全体が変わる時代に入っていると感じます。まずは私から認め合うゆとりを持つよう意識しております。いろいろな制限や人手不足の中、生徒たちのサポートに努めて下さりありがとうございます。
- ・時折用事で学校に出向く際にも、校内に穏やかな空気が流れていると感じます。先生方と生徒たち双方の日々の心がけの賜物だと思いますし、落ち着いた環境で卒業を迎えられることに改めて感謝しています。
- ・何事にも主体的でないと評価されない学校だと思いました。上っ面しかみない。個人を見ずに点数を見るだけの学校だと感じます。公立だから仕方ないとは思いますが、評定も厳しく、他の学校に行ったらよかったと後悔しています。
- ・兄妹で二中にお世話になっていますが、4年前に比べて改革が進んでいて以前よりも自由な校風で良いなあと感じています。
- ・時代の変化もあるかとは思いますが、私自身第二中学校出身なので、今の風潮が羨ましいと思います。
- ・いつも大変な中、とても丁寧に子供達を育ててくださりありがとうございます。「主体性」というが、行事など自己主張の強い要領の良い生徒ばかりが評価されることなく、それぞれの生徒が個性を發揮して活躍できるような学校であってほしい。
- ・先生方が1人1人をきちんと見てくださっていると思います。有難い限りです。
- ・いつもお世話になっております。二中の先生方はとても温かい雰囲気です。私も子どもとも信頼できると思います。先生方にはいつもお世話になっております。ありがとうございます。
- ・進路については生徒への声かけや、保護者の相談にも寄り添ってくださり、不安な中とても心強く、感謝しております。ありがとうございます。

〈学校より〉

学校の取組や先生方の働きを、支持し感謝して下さる多くのご意見をいただき、ありがとうございます。一部、厳しいご意見もごさいますが、前向きに受け止め、これからも信頼に応え、生徒一人一人のかけがえのない中学校生活が有意義なものとなり、それぞれの持てる力を最大限に伸ばすことができるよう、尽力してまいります。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- その他の主なご意見は、「職員の指導・対応について」、「学校の施設・設備について」、「職員の療養休暇について」、「学校からの情報発信について」、「給食について」等でした。多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。それぞれのご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいります。

6 学校運営協議会より

○対話する力の育成について

〈委員より〉

- ・対話する力をつけるためにどのような取組を行っているのか。

〈学校より〉

- ・対話スキルを高めるプログラム（授業）を、全学年で複数回行ってきた。例えば、アニメの題材を用いて、意見の相違から対立が起きた時、それぞれの立場に立って考えることで、対話を通して双方が合意できる、新たな解決策を生み出す方法を学ぶなど。

○運動機会の減少について

〈委員より〉

- ・「運動やスポーツに親しんでいる」の割合が減った原因は、どのようなことが考えられるか。

〈学校より〉

- ・運動・スポーツに関する問いは、例年、前期（6月）より、後期（12月）の方が減少する。市内でも同じ傾向である。原因は、アンケートの時期によるものだと考えられる。冬であるため外に出る機会が減っていること、3年生は部活動を引退しているためではないかと思っている。

〈委員より〉

- ・3年生の部活動引退が一因であるかどうかは、学年ごとのアンケート結果を抽出して、比較すればわかるはずである。

○単元テスト・実力テストについて

〈委員より〉

- ・単元テストの理解が進んできたと思う。
- ・「高校へ行ってから定期試験に対応できるか心配」「単元テストは範囲が短く日常的にあるので生徒が軽く考え、根を詰めて勉強しない」「単元テストのために毎日勉強しなければならず大変そうだな」などの意見があるが、一夜漬けの勉強がいいとは思えない。
- ・「単元テストのために毎日勉強しなければならず大変そうだな」という意見があるが、毎日勉強することは良いことだと思う。

〈委員より〉

- ・子供が単元テストの前に勉強をしなかった。実力テストの順位は出たが向上心が持てなかった。そのため、県内で何位なのか知りたい。

〈学校より〉

- ・単元テストに向けて日ごろの小さな取組を大切にしてほしい。
- ・実力テストに関しては、「相対的な学力の把握」や、「広い範囲の問題を制限時間内に回答する形式の試験を受験する経験」への対応として定期的実施している。趣旨を理解してうまく活用してほしい。県内での順位は伝えていないが、3年生では受験者数の多い業者を選んで実施しているので、志望校を検討する際の材料としても活用できるものである。

〈委員より〉

- ・単元テストの前に自分の子供は勉強していた。実力テストの順位ははじめは悪かったが、途中から勉強をするようになり、順位が上がった。
- ・単元テストが終わった後、生徒・先生たちは何をしているかが大切。誤答分析、先生方の振り返りをしっかり取り組んでほしい。
- ・孫が4月から二中に入るが、家では単元テストを習慣化テストと伝えている。小さなことの積み重ねが大切であると孫に教えている。単元テストを第二中では自信をもってやって欲しい。

〈学校より〉

- ・市川市内では、今のところ本校以外に単元テストを実施している学校はないが、市外では本校の取組に共感して実施し始めた学校もある。本校でもより効果が上がるよう、今後もしっかり取り組んでいきたい。

○その他のご意見

- ・全国学力・学習状況調査のアンケート結果を見ると、中学生は「勉強が将来役立つ」と思っていない生徒の割合が多かった。この項目の評価を上げるよう取り組むとよいと思う。
- ・どの項目も否定的な人は、そもそも否定的な考え方の人なのではないだろうか。
- ・AIは回答をくれるが、自分で考えることが大切であると考え。人と人の交わりが現在、どうなっているのだろうか、と感じた。
- ・全国学力・学習状況調査の学力の結果は著しく向上しているということなので、アピールのためにも、公表してよいと思う。
- ・キャリア教育に今後もしっかり取り組み、つきつめて欲しい。